

“辞書の日(10月16日)”記念、小学館の国語辞典『大辞泉』編集部が発表

## 間違った意味で使われる言葉ランキング 第1位は「ハッカー」と判明！

言い間違いされる言葉ランキング1位は「間が持てない」

株式会社 小学館（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：相賀昌宏）の国語辞典『大辞泉』編集部は、「あなたの言葉を辞書に載せよう。」キャンペーンを10月7日より実施。明日10月16日の辞書の日（米国の辞書編修者ノア・ウェブスターの誕生日／1758年）を記念し、「間違った意味で使われる言葉ランキング」と「言い間違いされる言葉ランキング」を発表します。

### ■間違った意味で使われる言葉1位は「ハッカー」

大辞泉編集部が選んだ50の言葉について、「普段、あなたが次の言葉を使うとき、どのような意味で使っていますか？ 本来の意味かどうかは問いません」という質問で、「よく見かける、本来と異なる意味」と「本来の意味」を二択で提示。前者の回答が多かった順にランキングしました。

順位	言葉	本来と異なる意味	%	本来の意味	%	この言葉を使ったことが無い%
1	ハッカー	コンピューターに侵入し、不正行為を行う人	77.4	コンピューターやインターネットに詳しい人	12.7	9.9
2	確信犯	悪いことであるとわかっていながらする犯罪	73.0	信念に基づいて「正しいことだ」と思い込んでする犯罪	14.9	12.1
3	他力本願	自分で努力するのではなく、他人からの助けに期待すること	68.8	自らの修行などによって悟りを得るのではなく、仏の力によって救済されること	16.8	14.5
4	破天荒	豪快で大胆不敵なようす	68.3	だれも成し得なかったことをすること	13.8	17.8
5	姑息(な手段)	ひきょうであるさま	62.6	一時しのぎであるさま	19.4	18.0
6	失笑する	笑いも出ないくらいあきれ	61.8	思わず笑い出す	26.6	11.6
7	敷居が高い	高級すぎたり、上品すぎたりして、入りにくい	61.7	相手に不義理などがあって、その人の家に行くにくい	27.8	10.5
8	(話の)さわり	話の最初の部分	59.1	話の要点	25.8	15.2
9	なしくずし	物事が曖昧なまま進んでいくこと	57.3	物事を少しずつかたづけしていくこと。徐々に物事を行うこと	13.9	28.8
10	悪びれる	虚勢を張って悪事を働いても悪いとは思わない態度をとる	55.3	恥ずかしがったり、卑屈な態度をとる	25.6	19.1

#### 【大辞泉編集部による解説】

1位の「ハッカー」には、本来、コンピューターで不正行為をする人という意味はありません。そういう意味の言葉「クラッカー」と混同されているのでしょう。しかし、新聞・テレビの報道などでも、悪い意味で「ハッカー」が使われている例が見受けられます。2つの言葉の知名度・浸透度の差から、分かりやすさを重視して、あえて「ハッカー」を使うケースも考えられます。新しいだけに、意味の変化が起きやすい言葉なのかもしれません。

2位の「確信犯」は、平成14年度「国語に関する世論調査」（文化庁発表）では、本来と異なる意味で使用される割合が57.6%でしたが、今回の調査では73.0%でした。時間の経過とともに「誤用率」が大きくなってきています。

3位の「他力本願」は、自らの修行などによらず、阿弥陀仏の本願で救済されることという浄土教の言葉ですが、「人まかせ」という意味も定着してしまっているようです。これに対し、浄土宗や浄土真宗の各宗派などが本来の意味の周知につとめています。

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「小学館『大辞泉』調べ」とご明記下さい。

## ■言い間違いされる言葉1位は「○ 間が持てない」→「× 間が持たない」

大辞泉編集部が選んだ50の「意味」について、「次の意味を表す言葉として、あなたが普段使っている言葉を選んでください」という質問で、「よく見かける間違っただい方」と「本来の言い方」を二択で提示。前者の回答が多かった順にランキングしました。

順位	意味	本来と異なる言い方	%	本来の言い方	%	この言葉を使ったことが無い%
1	途切れがちの会話などを、うまくつなぐことができない	間が持たない	68.3	間が持てない	15.3	16.4
2	激しい語気の声を出す	声をあらげる	63.9	声をあらげる	15.6	20.5
3	相手のすきをついて失敗させる	足もとをすくう	61.3	足をすくう	20.5	18.2
4	陣頭に立って指図をする。指揮する	采配(さいはい)を振るう	58.7	采配(さいはい)を振る	18.2	23.2
5	激しく怒る	怒り心頭に達する	54.3	怒り心頭に発する	22.8	22.9
6	どこへ出ても圧倒されることがない。実力があって堂々としている	押しも押されぬ	52.0	押しも押されませぬ	25.1	22.9
7	病気で高熱のためうわごとを言う。前後を忘れて夢中になる	熱にうなされる	51.8	熱に浮かされる	28.5	19.7
8	最高にすぐれていると思っても、さらにすぐれたものがある	上には上がいる	51.1	上には上がある	33.8	15.1
9	相手を喜ばせるような振る舞いをする	愛想を振りまく	49.3	愛嬌を振りまく	30.2	20.5
10	欲しいものを得ようとして働きかける	食指を伸ばす	40.5	触手を伸ばす	26.8	32.8

### 【大辞泉編集部による解説】

1位の「間が持たない」は、「途切れがちの会話などを、うまくつなぐことができない」と言いたいときに7割近くの人が使っていますが、「間が持てない」が本来の言い方です。平成22年度「国語に関する世論調査」（文化庁発表）では、「間が持てない」を使う人が29.3%で「間が持たない」を使う人が61.3%でしたが、今回の調査では68.3%と、時間の経過とともに本来と異なる言い方を使用する割合が増加しています。

2位の「声をあらげる」について、近年「声をあらげる」とすることもあります。本来は誤りです。正しくは、「声をあらげる」で、漢字にすると「声を荒らげる」と書きます。しかし、最近「あらげる」を使用する人の増加に伴い、放送現場では「あらげる」の使用も認められているようです。3位の「足もとをすくう」は、「足をすくう」が本来の言い方です。「すくう（搦う）」は、「下から上へすばやく持ち上げる。また、下から持ち上げるようにして横にはらう。」という意味です。「足もと」は間違いなのかどうか、といった議論がなされる言葉です。

両アンケートでは、あえて「間違っただい方」「言い間違い」としてランキングしましたが、言葉というものは、それ自体も意味も、時代によって変遷していくのも事実。必ずしも「間違い」とは言い切れない場合もあります。『大辞泉』は、そういった言葉の変遷を随時追跡し、辞書に反映する体制を整えています（詳しくは次ページをご覧ください）。

「間違っただい方で使われる言葉ランキング」

「言い間違いされる言葉ランキング」

それぞれの11位以降は4ページから掲載。

その他に参考として、

「年代で語釈（言葉の意味）が異なる言葉ランキング トップ5」、

「年代で言い方が異なる言葉ランキングトップ5」、

「間違っただい方で使われる言葉ランキング年代別トップ5」、

「言い間違いされる言葉ランキング 年代別トップ5」を6ページ以降に掲載。

## ■調査概要

- 調査名 : 本来と異なる意味・言い方で使用される言葉ランキング
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査期間 : 2013年9月20日～2013年9月23日
- 調査対象 : 15歳以上の男女
- 有効回答数 : 1200名<年代(15-19歳・20代・30代・40代・50代・60代以上)×性別 各100名>

## ■小学館・大辞泉「あなたの言葉を辞書に載せよう。」キャンペーン実施中

- 名称 : 小学館・大辞泉「あなたの言葉を辞書に載せよう。」キャンペーン
- 実施概要 : 8つの言葉(①愛、②自由、③大人、④失敗、⑤カワイイ、⑥友だち、⑦萌え、⑧SNS)の語釈(100字以内)を一般より広く募集し、小学館『大辞泉』編集部が選定した語釈を、2013年12月の改訂時に『大辞泉』デジタル版データに収録
- 募集期間 : 2013年10月7日(月)～10月31日(木)
- 応募方法 : ①インターネットまたは②ハガキにて募集
- 応募先 : ①インターネットの場合  
特設サイト (<http://kotoba.daijisen.jp>) 投稿フォームより  
②ハガキの場合  
〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1  
株式会社小学館「大辞泉キャンペーン事務局」係宛
- 賞品 : 全応募者から抽選で5名様に「iPad mini 16GBモデル」をプレゼント  
※色は選べません。  
※iPad miniは、本体のみのプレゼントとなります。インターネット回線の接続には、別途ご契約が必要となります。  
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
- 掲載予定語釈数 : 1つの言葉に対して5～10の語釈、合計40～80の語釈を予定
- 掲載時期 : 『大辞泉』デジタル版データの定期改訂時(2013年12月)に収録予定  
のち、2014年1月以降、goo辞書、kotobank、JapanKnowledge等に順次反映
- 宣伝活動 : 期間内にウェブ広告、テレビCM、交通広告など幅広く展開予定

## ■『大辞泉』はネット&amp;デジタル時代にマッチした“生きている国語辞典”



新しい言葉の採録に積極的に取り組んでいる“生きている国語辞典”『大辞泉』のデジタル版データは、最新採録語数27万語(2013年9月現在)に達し、同クラスの国語辞典のなかでもナンバーワン。更に毎年3回、8,000語以上の新語・新語釈を定期更新しています。その先進性が評価され、kotobank、Yahoo!辞書、goo辞書、infoseekマルチ辞書など国内主要ポータルサイトの辞書データとして採用されているほか、主要な電子辞書にも搭載されています。デジタル時代にマッチした国語辞典として、今後も日々生まれゆく新しい言葉や語彙をキャッチし、立項・アップデートしていきます。

## ※『大辞泉』公式ウェブサイトでも情報発信しています！



“生きている国語辞典”『大辞泉』の知られざる特長、幅広い展開事例、関連する著名人のメッセージ、関連最新ニュースなどをご覧いただけます。『舟を編む』で話題の小説家・三浦しをんさんからの特別メッセージも読めます！

<http://www.daijisen.jp> または 大辞泉 で検索！

## 【アンケート結果の詳細 1】 間違った意味で使われる言葉ランキング 11位以降

順位	言葉	本来と異なる意味	%	本来の意味	%	この言葉を使ったことが無い%
11	逆鱗(げきりん)に触れる	ふだんは穏やかな人を激しく怒らせる	55.3	目上の人を激しく怒らせる	25.6	19.2
12	檄(げき)を飛ばす	活気のない者に刺激を与えて元気づける	54.8	主張や考えを人々に知らせて同意を求め、決起をうながす	25.5	19.8
13	煮詰まる	行きづまって結論が出せない状態になる	52.8	十分に議論して、結論が出る段階に近づく	35.1	12.2
14	号泣する	激しく泣く	51.4	大声をあげて泣く	39.3	9.3
15	絵に描いたような	実現性のない計画や理想のたとえ	48.1	典型的な事柄・状態であることのたとえ	38.6	13.3
16	うがった(見方)	物事を疑ってかかる	47.8	物事の本質を的確にいう	11.1	41.1
17	茶々を入れる	からかう。茶化す	44.8	じゃまをする。水をさす	40.0	15.2
18	雨模様	雨が降ったりやんだりしているようす	44.6	雨が降りそうなようす	39.8	15.6
19	役不足	本人の力量に対して役目が重すぎる	42.2	本人の力量に比べて役目が軽すぎる	32.0	25.8
20	割愛(かつあい)する	不必要なものを捨て去る	40.3	惜しいと思うものを、思い切って捨てる	36.3	23.4
21	慄然(とした態度)	腹を立てているようす	38.8	失望・落胆してどうすることもできないでいるようす	30.1	31.1
22	世間ずれ	世間の考えから外れている	38.8	世間を渡ってきてずる賢くなること	31.7	29.6
23	御(おん)の字	十分とはいえないが、納得できること	38.3	じゅうぶん満足できること	34.8	26.9
24	浮き足立つ	うきうきして落ち着かなくなる	37.7	不安や恐れで落ち着きを失う。逃げ腰になる	42.1	20.3
25	ぞつとしない	恐ろしくない	32.1	おもしろくない	24.1	43.8
26	流れに棹(さお)さす	時流に逆らって、勢いが失われる	31.1	時流に乗って、ものごとが思い通りに進行する	13.7	55.3
27	爆笑	一人がわっと笑うこと	30.8	大勢の人がどっと笑うこと	58.7	10.6
28	やおら立ち上がる	急に立ち上がる	30.6	ゆっくりと立ち上がる	22.4	47.0
29	情けは人のためならず	人に親切にするのは、結局はその人のためにならない	29.9	人に親切にすると、巡り巡って結局は自分のためになる	53.8	16.3
30	なさぬ仲	許されぬ仲。道ならぬ恋をしている男女の間柄	29.3	血のつながりのない親子の間柄	19.4	51.3
31	気が置けない	心配りや遠慮があって、安心して気を許せない	28.5	遠慮したり気をつかたりする必要がなく、心から打ち解けることができる	50.1	21.4
32	負い目	相手と比べて、自分が劣っていると感ずること	27.8	恩義があつたり罪悪感があつたりして、相手に頭が上がらないこと	58.3	13.8
33	嬌声(きょうせい)	女性の、甲高い笑い声	27.0	女性の、こびを含んだなまめかしい声	21.5	51.5
34	思い余る	伝えたいことが多くすぎて、逆にうまく伝えることができなくなる	26.6	さんざん思い悩んで、どうにも考えが決まらなくなる	44.3	29.2
35	悲喜こもごも	悲しんでいる人と喜んでいる人が入り乱れていること	24.3	悲しいこととうれしいことを、代わる代わる味わうこと	36.9	38.8
36	小春日和	春の初めの暖かく穏やかな気候	24.2	初冬のいかにも小春らしい穏やかで暖かい日和	57.0	18.8
37	逆上	叱責される立場の者が、筋の通らない反論を激しくすること	23.8	激しい怒りや悲しみのため、頭に血が上ること	59.0	17.3
38	筆が立つ	字が上手である	23.3	文章が上手である	51.4	25.3
39	枯れ木も山の賑わい	多くの人が集まればにぎやかになる	21.3	つまらないものでも、ないよりはまし	40.2	38.5
40	琴線に触れる	怒りを買う	19.9	感銘を受ける	37.8	42.3
41	手をこまねく	事前に準備して待ち構える	19.3	何もせずに傍観する	51.5	29.2
42	煮え湯を飲まされる	敵からひどい目にあわされる	17.9	信頼していた者から裏切られる	46.6	35.5
43	他山の石	他人の言動が自分の手本となること	17.2	他人の間違った言動が自分の行いの参考となる	27.0	55.8
44	高飛び	犯罪者などが飛行機を使って逃亡すること	15.8	犯罪者などが遠くの土地へ逃げる	62.6	21.6
45	烙印(らくいん)を押される	ぬれぎぬを着せられ、罪を犯したと決めつけられる	15.6	ぬぐい去ることのできない汚名を受ける	61.2	23.3
46	天地無用	運送する荷物のどの面を上に向けてもかまわない	14.0	破損の恐れがあるため、運送する荷物を上下を逆にしてはいけない	59.2	26.8
47	抗弁	道理に合わない無理な弁明をすること	14.0	相手の主張に対し立場を堅持(けんじ)して反論すること	32.2	53.8
48	杞憂(きゆう)	うれうべきことに心を配ること	13.7	心配する必要のないことを思い悩むこと	48.0	38.3
49	一姫二太郎	子を持つには、女兒一人、男児二人だと事故があっても家が保たれるという言い伝え	10.9	子を持つには、最初は育てやすい女の子で、次は男の子がよいという言い伝え	69.1	20.0
50	心を鬼にする	困難に立ち向かうため、自分の気持ちを鼓舞(こぶ)する	10.3	かわいそうだと思いながら、厳しい態度をとる	76.5	13.3

## 【アンケート結果の詳細 2】 言い間違いされる言葉ランキング 11位以降

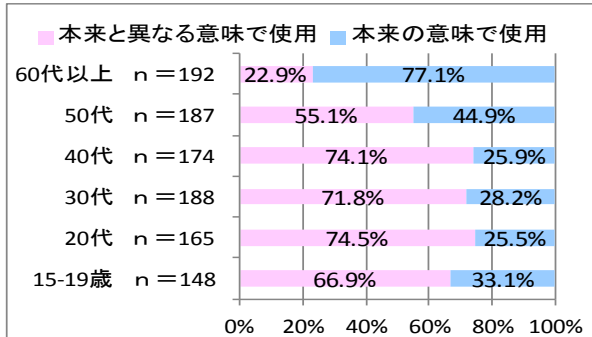
順位	意味	本来と異なる言い方	%	本来の言い方	%	この言葉を使ったことが無い%
11	以前負けた相手に勝つこと	雪辱(せつじょく)を晴らす	40.2	雪辱(せつじょく)を果たす	40.8	19.0
12	口先だけでうまく相手をあしらうこと	口先三寸	37.4	舌先三寸	36.0	26.6
13	悪い状態、特に病気が少しずつよくなっていくようす	薄皮を剥(は)ぐよう	37.4	薄紙を剥(は)ぐよう	16.8	45.8
14	うまく目標に当てる。うまく要点をつかむ	的を得る	36.8	的を射る	47.1	16.1
15	恨みが骨のしんまでしみとおる。深い恨みを抱く	恨み骨髓(こつずい)に達す	36.2	恨み骨髓(こつずい)に徹す	9.3	54.5
16	入り乱れて混乱するさま	上や下への大騒ぎ	34.3	上を下への大騒ぎ	31.3	34.4
17	いつも頭から離れないで、その人の思考を拘束するような考え	固定概念	32.7	固定観念	50.1	17.3
18	少しのすきまもないほど、警戒が嚴重なことのたとえ	蟻(あり)の入り込むすきもない	31.7	蟻(あり)の這い出るすきもない	30.9	37.4
19	他と比べて特に目立つ点。きわだったしるし	特長	28.3	特徴	55.8	15.9
20	相手の動作や話の合間に、別の動作や言葉をはさむ	合いの手をうつ	27.1	合いの手をいれる	54.5	18.4
21	目上の人に評価される。気に入られる	お目にかなう	26.2	お眼鏡にかなう	54.8	19.0
22	ほんの少しの時間も無駄にしないようす	寸暇(すんか)を惜しまず	25.9	寸暇(すんか)を惜しんで	35.7	38.4
23	知られていなかったことや隠されていた事実が、世間に広まる	明るみになる	25.8	明るみになる	57.8	16.4
24	恩を施したことについて、ことさらにありがたく思わせようとする	恩を着せる	25.7	恩に着せる	56.8	17.6
25	よく理解できるように丁寧に言い聞かせる	噛んで含むように言う	25.0	噛んで含めるように言う	39.2	35.8
26	頼りとしてすぐとところがない	取りつく暇もない	24.3	取りつく島もない	55.8	19.9
27	新たな成果を挙げて、悪い評判をしりぞけること	汚名挽回	23.0	汚名返上	61.5	15.5
28	はっきり言わず、あいまいにする	口を濁す	22.8	言葉を濁す	64.0	13.3
29	企業が人材確保のため、卒業予定の学生の採用を早くから内定すること	青田刈り	22.2	青田買い	46.9	30.9
30	論理を組み立てて議論を展開する	論戦を張る	21.6	論陣を張る	24.2	54.3
31	ひっきりなしに続くさま	のべつくまなし	21.3	のべつまくなし	41.5	37.3
32	つらくて嫌な思いをする。にがい経験をする	苦汁を味わう	20.5	苦汁をなめる	56.9	22.6
33	どんな苦勞をしてもがまんすること	石にしがみついても	19.4	石にかじりついてでも	58.6	22.0
34	追いかけてたり、追いかけられたり。抜きつ抜かれつ	追いつ抜かれつ	19.3	追いつ追われつ	53.2	27.6
35	食欲が起こる。ある物事に対し欲望や興味が生じる	食指をそそられる	18.6	食指が動く	46.8	34.7
36	味わいやおもしろみが出るように工夫する	嗜好を凝らす	16.7	趣向を凝らす	62.0	21.3
37	気持ちよく、すぐに承諾(しょうたく)すること	一つ返事	16.3	二つ返事	67.0	16.7
38	いよいよという場合に使う切り札	天下の宝刀	13.9	伝家の宝刀	62.9	23.2
39	屋根の上にさらに屋根を架ける。むだなことをするたとえ	屋上屋(おくじょうおく)を重ねる	13.6	屋上屋(おくじょうおく)を架す	15.6	70.8
40	才能・手腕があつてぬきんでている人は、とかく人から憎まれる	出る釘は打たれる	13.2	出る杭は打たれる	69.9	16.9
41	言葉を言い終わるか終わらないうち	舌の先の乾かぬうちに	12.2	舌の根の乾かぬうちに	60.0	27.8
42	ある役目をやめさせられる。また、仕事をしなくてもよくなる	お役目御免になる	10.4	お役御免になる	69.2	20.4
43	他人に取り次ぐ賞金や代金の一部を自分のものとする	上前をかすめる	10.0	上前をはねる	53.6	36.4
44	人の言いまちがいや言葉じりをとらえて非難したり、からかったりする	揚げ足をすくう	9.2	揚げ足を取る	75.9	14.9
45	世間の論議を引き起こす	物議を呼ぶ	8.8	物議をかもす	70.8	20.3
46	そんなに思いどおりになるものではない	そうは問屋が許さない	8.4	そうは問屋が卸さない	69.2	22.4
47	きわめて明らかで、疑う余地がない	火を見るように明らか	8.2	火を見るより明らか	66.3	25.5
48	不平・不満・恨みなどを解消して、気を晴らす	溜飲(りゅういん)を晴らす	6.9	溜飲(りゅういん)を下げる	47.6	45.5
49	古くからのやり方にのっとったようす	古式豊かに	6.6	古式ゆかしく	59.2	34.3
50	ほかの事を考えないで、ただひたすらに。がむしゃらに	しゃにむな	5.2	しゃにむに	66.6	28.3

## 【参考1】◎年代で語釈（言葉の意味）が異なる言葉ランキング（※）トップ5

※対象は各言葉の使用経験のある回答者とし、本来と異なる意味の使用率を年代別に比較。  
その差の大きさをランキング化。

### <1位：煮詰まる>

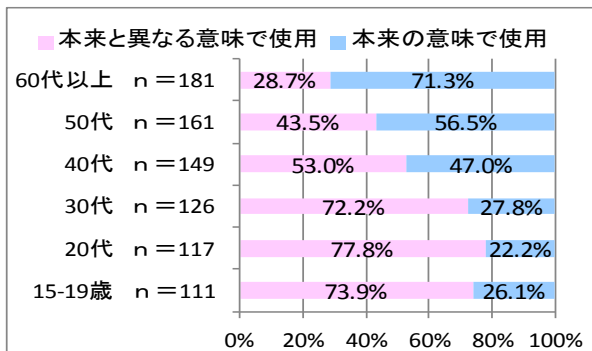
本来：十分に議論して、結論が出る段階に近づく 本来と異なる：行きづまって結論が出せない状態になる



間違った意味で使用している割合が最も高い 20代と、最も低い 60代以上には 51.6pt の差が出ています。本来の意味での使用は、1900年代後半に始まるようです。「行き詰まる」の意では 1950年ころの使用例がありますが、広まったのは 2000年頃からではないかと思われます。

### <2位：世間ずれ>

本来：世間を渡ってきてずれる賢くなること 本来と異なる：世間の考えから外れている

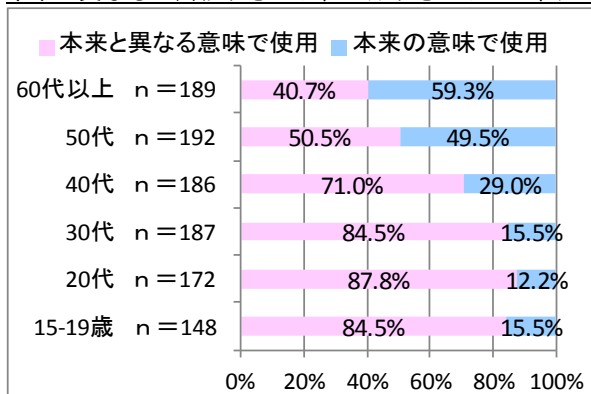


間違った意味で使用している割合が最も高い 20代と、最も低い 60代以上には 49.0pt の差が出ています。30代以下のすべての年代において、間違った意味で使用する割合が 7割を越え、高くなっています。

### <3位：敷居が高い>

本来：相手に不義理などがあって、その人の家に行きにくい

本来と異なる：高級すぎたり、上品すぎたりして、入りにくい



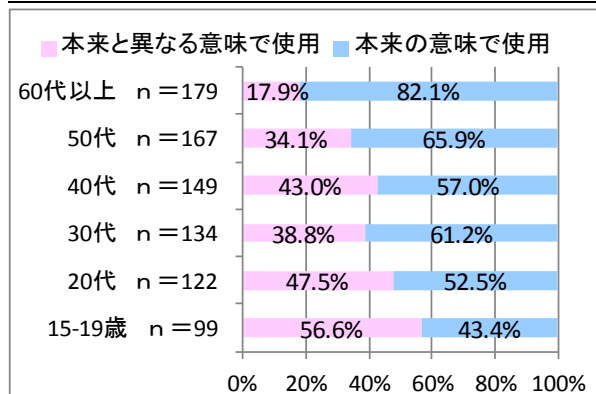
間違った意味で使用している割合が最も高い 20代と、最も低い 60代以上には 47.0pt の差が出ています。この言葉は、「間違った意味で使われる言葉ランキング」でも上位に入っており、60代以上でも 4割以上が間違った意味で使用しています。

1~3位では、20代より 15~19歳の方が本来の意味で使う傾向にあるのは、現役の学生として、学校教育を受けている真っ最中だからかもしれません。

## <4位：思い余る>

本来：さんざん思い悩んで、どうにも考えが決まらなくなる

本来と異なる：伝えたいことが多くすぎて、逆にうまく伝えることができなくなる

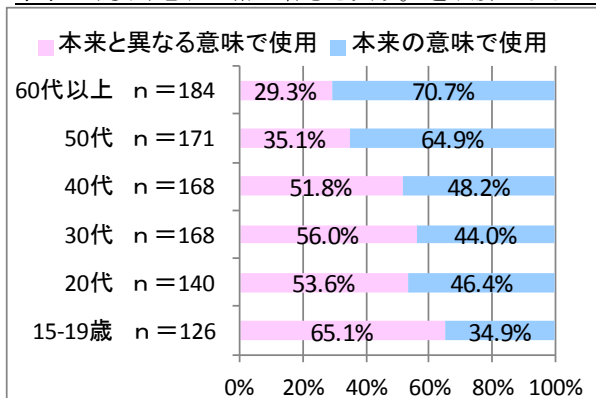


間違った意味で使用している割合が最も高い15-19歳と、最も低い60代以上には38.7ptの差が出ています。総じて本来と異なる意味で使用されている割合は、それほど高くなく、60代以上においては2割を切っています。ただし、年代別で言葉の意味に差が生じているため、ランクインしています。

## <5位：浮き足立つ>

本来：不安や恐れで落ち着きを失う。逃げ腰になる

本来と異なる：うきうきして落ち着かなくなる



間違った意味で使用している割合が最も高い15-19歳と、最も低い60代以上には35.7ptの差が出ています。本来、「倒産のうわさに社員が浮き足立つ」という使い方をされる言葉ですが、40代以下のすべての年代で間違った意味の使用が5割を超えており、40代と50代の間で線引きされるようです。

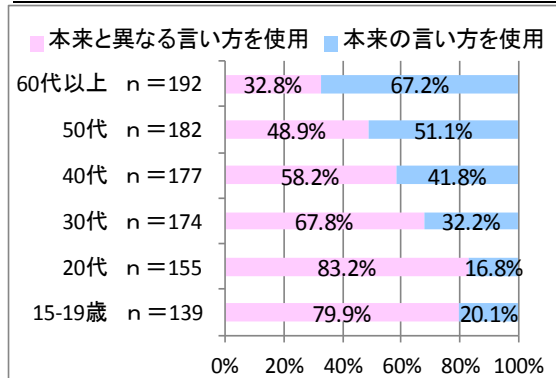
## 【参考2】◎年代で言い方が異なる言葉ランキング（※）トップ5

※対象は各言葉の使用経験のある回答者とし、本来と異なる言い方の使用率を年代別に比較。

その差の大きさをランキング化

## <1位：本来と異なる言い方：上には上がいる 本来の言い方：上には上がある>

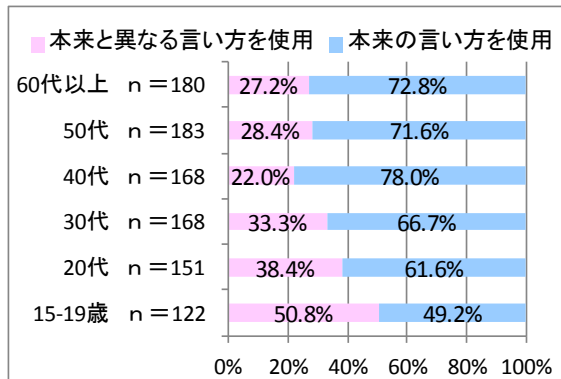
意味：最高にすぐれていると思っても、さらにすぐれたものがある



言い間違いされている割合が最も高い20代と、最も低い60代以上には50.4ptの差が出ています。本来と異なる言い方を使用している割合は20代をピークに年代が上がるにつれ、低下しています。

## <2位：本来と異なる言い方：お目にかなう 本来の言い方：お眼鏡にかなう>

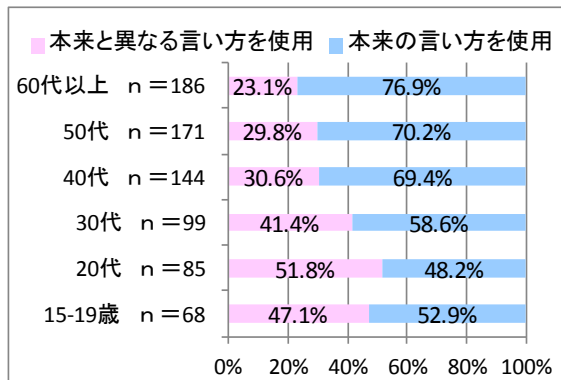
意味：目上の人に評価される。気に入られる



言い間違いされている割合が最も高い 15-19 歳と、最も低い 40代には 28.8pt の差が出ています。総じて、言い間違いされている割合は低めですが、15-19 歳で、割合がぐんと伸びており、半数を越えています。また、この場合の「お眼鏡」とは、「物の善悪・可否を見きわめる能力」という意味です。

## <3位：本来と異なる言い方：のべつくまなし 本来の言い方：のべつまくなし>

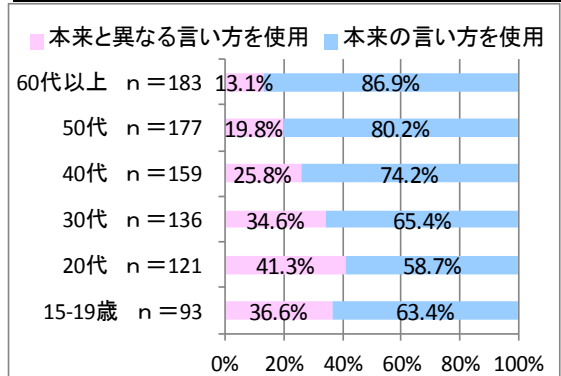
意味：ひっきりなしに続くさま



言い間違いされている割合が 20代と 60代以上で 28.6pt の差が出ています。この言葉の使用経験は年代が下がるにつれ減っており、使用されなくなっている様子が伺えます。また、漢字では「のべつ幕無し」と書き、「のべつ」とは、「ひっきりなしに」という意味で、芝居で幕を引かずに演技を続ける意からきた言葉です。

## <4位：本来と異なる言い方：追いつ抜かれつ 本来の言い方：追いつ追われつ>

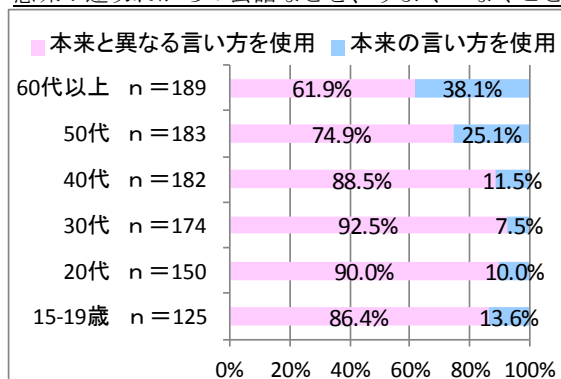
意味：追いかけたり、追いかけられたり。抜きつ抜かれつ



言い間違いされている割合が最も高い 20代と、最も低い 60代以上には 28.2pt の差が出ています。言い間違いされている割合は全年代を通じて低めですが、同じ意味の「抜きつ抜かれつ」と混同してしまっているのではないかと考えられます。

## <5位：本来と異なる言い方：間が持たない 本来の言い方：間が持てない>

意味：途切れがちの会話などを、うまくつなぐことができない



言い間違いされている割合が最も高い 30代と、最も低い 60代以上には 28.1pt の差が出ています。全年代を通じて半数以上が言い間違いしており、20代・30代では 9割を越えています。



## 【参考3】◎間違った意味で使われる言葉ランキング年代別トップ5

<10代> ※15歳～19歳

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	ハッカー	68.5	16.5
2	確信犯	65.0	20.5
3	敷居が高い	62.5	26.0
4	失笑する	61.5	18.0
4	破天荒	61.5	27.5

<20代>

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	敷居が高い	75.5	14.0
2	確信犯	72.5	12.5
3	破天荒	70.5	18.5
4	姑息(な手段)	69.5	15.0
5	失笑する	68.0	11.5

<30代>

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	敷居が高い	79.0	6.5
2	ハッカー	76.5	6.5
3	確信犯	75.0	8.5
4	他力本願	72.5	10.5
5	破天荒	72.0	13.0

<40代>

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	ハッカー	79.0	9.0
2	確信犯	77.5	8.5
3	他力本願	70.0	11.0
4	破天荒	69.5	17.0
4	なしくずし	69.5	20.5

<50代>

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	ハッカー	88.0	6.0
2	確信犯	77.5	10.5
3	他力本願	73.5	8.5
4	なしくずし	67.5	17.5
5	(話の)さわり	66.5	9.5

<60代>

順位	言葉	本来と異なる意味 で使用(%)	使用経験無し (%)
1	ハッカー	86.0	7.0
2	破天荒	71.0	11.5
2	他力本願	71.0	6.5
4	確信犯	70.5	12.0
5	なしくずし	68.5	10.5

## 【参考4】◎言い間違いされる言葉ランキング年代別トップ5

<10代> ※15歳～19歳

順位	本来と異なる 言葉	本来と異なる 言い方で使用 (%)	使用経験無し (%)
1	上には上がいる	55.5	30.5
2	間が持たない	54.0	37.5
3	声をあげる	50.5	38.0
4	怒り心頭に達する	47.0	40.5
5	足もとをすくう	44.5	37.0

<20代>

順位	本来と異なる 言葉	本来と異なる 言い方で使用 (%)	使用経験無し (%)
1	間が持たない	67.5	25.0
2	上には上がいる	64.5	22.5
3	足もとをすくう	53.0	26.5
4	声をあげる	52.0	31.5
5	怒り心頭に達する	48.5	32.5

<30代>

順位	本来と異なる 言葉	本来と異なる 言い方で使用 (%)	使用経験無し (%)
1	間が持たない	80.5	13.0
2	声をあげる	69.5	14.0
3	足もとをすくう	67.0	15.5
4	采配(さいはい)を振るう	65.0	21.0
5	怒り心頭に達する	62.5	18.5

<40代>

順位	本来と異なる 言葉	本来と異なる 言い方で使用 (%)	使用経験無し (%)
1	間が持たない	80.5	9.0
2	声をあげる	69.0	18.0
3	采配(さいはい)を振るう	67.5	16.0
4	足もとをすくう	66.5	14.5
5	押しも押されぬ	61.5	17.5

<50代>

順位	本来と異なる 言葉	本来と異なる 言い方で使用 (%)	使用経験無し (%)
1	声をあげる	72.0	11.5
2	采配(さいはい)を振るう	69.5	10.0
3	足もとをすくう	69.0	8.0
4	間が持たない	68.5	8.5
5	愛想を振りまく	61.5	11.0